

公立病院の決算を正しく評価するための委員会意見

(公立豊岡病院組合改革プラン評価委員会意見)

標記の委員会審議の中で出された意見を踏まえ、新たな評価項目を資料3及び8に追加するとともに、記載方法に工夫を講じた。

【意見1】 政策医療（救急医療・感染症対応等）を担う公立病院の評価は、医業収支ではなく経常収支での判断が妥当であることから、費用に係る各費目の評価は経常収益比率を新たに設け、現行の医業収益比率は参考記載とすること。

医業収益：通常の医療に係る収益（診療報酬）

医業外収益：政策医療に係る収益（補助金等）

経常収益：医業収益＋医業外収益

医業費用：通常の医療に係る費用＋政策医療に係る費用

医業外費用：医療以外に係る費用（支払利息等）

経常費用：医業費用＋医業外費用

$$\text{医業収支} = \frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} = \frac{\text{通常医療収益}}{\text{通常医療費用} + \text{政策医療費用}}$$

$$\text{経常収支} = \frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} = \frac{\text{通常医療収益} + \text{政策医療収益}}{\text{通常医療費用} + \text{政策医療費用} + \text{医療以外費用}}$$

(ポイント) 医業収支の分子には政策医療に係る収益が含まれておらず、分母に比べて分子が小さくなる歪な構造が医業収支。政策医療を行っている公立病院を正しく評価するには経常収支で判断するのが妥当であり重要。

【意見2】 現行の改革プランは新型コロナウイルス感染症発生前（H29.3月）に策定されたものであるため、計画値と実績値を単純に比較して評価することが不適切な項目がある。よって、単純比較による評価が不適切なものは()書とすること。

令和2年度 決算評価表（収益的収支:総括）

資料3の1

(税込、単位:百万円、%)

区分		年度		R02計画 A	R02決算 B	R02計画と 決算の差 B-A	達成率	評価	R01決算 C	R01決算と R02決算の 差 B-C	伸び率 B÷C
収入	1 入院収益 (a)	12,071	11,239	-832	93.1	(×)	11,460	-221	98.1		
	2 外来収益 (b)	5,420	5,712	292	105.4	(○)	5,827	-115	98.0		
	3 その他医業収益 (c)	643	522	-121	81.2	(×)	589	-67	88.6		
	4 国(県)補助金	345	2,345	2,000	679.7	-	359	1,986	653.2		
	5 負担金交付金	1,776	1,957	181	110.2	-	1,862	95	105.1		
	6 長期前受金戻入	94	97	3	103.2	-	98	-1	99.0		
	7 資本費繰入収益	1,305	1,478	173	113.3	-	1,342	136	110.1		
	8 その他	92	110	18	119.6	-	98	12	112.2		
	経常収益 (A)	21,747	23,459	1,712	107.9	-	21,634	1,825	108.4		
支出	1 職員給与費 (d)	11,496	11,643	147	98.7	-	11,470	173	101.5		
	2 材料費 (e)	4,961	5,558	597	89.3	-	5,369	189	103.5		
	3 経費 (f)	2,836	2,968	132	95.6	-	2,913	55	101.9		
	4 減価償却費 (g)	1,974	1,908	-66	103.5	-	1,908	0	100.0		
	5 その他医業費用 (h)	289	167	-122	173.1	-	209	-42	79.9		
	6 支払利息	250	247	-3	101.2	-	263	-16	93.9		
	7 その他	109	120	11	90.8	-	130	-10	92.3		
	経常費用 (B)	21,915	22,610	695	96.9	-	22,262	349	101.6		
	経常収支 (A)-(B)	-168	849	1,017	-	○	-627	1,476	-		
(参考) 実質経常収支 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消	114	849	735	744.7	○	-345	1,194	-			
特別損益	0	-2,355	-2,355	-	-	-1	-2,354	-			
純損益 (経常収支+特別損益) (ア)	-168	-1,507	-1,339	11.1	(×)	-628	-879	-			
(参考) 実質純損益 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消	114	-1,507	-1,621	-	(×)	-346	-1,161	-			
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	99.2	103.8	4.6	104.6	○	97.2	6.6	106.8			
経常収支比率 $\frac{(A)}{\text{調整後}(B)} \times 100$ ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消	100.5	103.8	3.3	103.3	○	98.4	5.4	105.5			
医業収支比率 $\frac{(a)+(b)+(c)}{(d)+(e)+(f)+(g)+(h)} \times 100$	84.1	78.6	-5.5	93.5	(×)	81.7	-3.1	96.2			
内部留保資金	204	1,428	1,224	-	(○)	-246	1,674	-			
職員給与費対経常収益比率 $\frac{(d)}{(A)} \times 100$	52.9	49.6	-3.3	106.7	○	53.0	-3.4	-			
材料費対経常収益比率 $\frac{(e)}{(A)} \times 100$	22.8	23.7	0.9	96.2	△	24.8	-1.1	-			
経費対経常収益比率 $\frac{(f)}{(A)} \times 100$	13.0	12.7	-0.3	102.4	○	13.5	-0.8	-			
減価償却費対経常収益比率 $\frac{(g)}{(A)} \times 100$	9.1	8.1	-1.0	112.3	○	8.8	-0.7	-			
【参考】											
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(d)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	63.4	66.6	3.2	95.2	(△)	64.2	2.4	-			
材料費対医業収益比率 $\frac{(e)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	27.4	31.8	4.4	86.2	(×)	30.0	1.8	-			
経費対医業収益比率 $\frac{(f)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	15.6	17.0	1.4	91.8	(×)	16.3	0.7	-			
減価償却費対医業収益比率 $\frac{(g)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	10.9	10.9	0.0	100.0	(○)	10.7	0.2	-			

現行の改革プランは新型コロナウイルス感染症発生前(H29.3月)に策定されたものであるため、計画値と実績値を単純に比較して評価することが不適切な項目がある。よって、単純比較による評価が不適切なものは()書とした。
 各項目及び合計は100万円未満四捨五入のため、項目の合計値と合計欄の数値は一致しない場合がある。
 また、病院ごとの数値合計と総括の数値も一致しない場合がある。
 ただし、本資料は経常収支の中に介護収支を含んでおり、その点において資料2と合致しない。
 ※達成率(概ね100%以上...○、95%以上100%未満...△、95%未満...×)を踏まえつつ、決算値の増減等も考慮して評価。

令和2年度 決算評価表 (収益的収支:豊岡病院)

資料3の2

(税込、単位:百万円、%)

年度 区分		R02計画 A	R02決算 B	R02計画と 決算の差 B-A	達成率	評価	R01決算 C	R01決算と R02決算の 差 B-C	伸び率 B÷C
収入	1 入院収益 (a)	9,938	9,528	-410	95.9	(△)	9,599	-71	99.3
	2 外来収益 (b)	3,540	4,009	469	113.2	(○)	4,086	-77	98.1
	3 その他医業収益 (c)	371	329	-42	88.7	(×)	377	-48	87.3
	4 国(県)補助金	344	2,087	1,743	606.7	-	358	1,729	583.0
	5 負担金交付金	1,263	1,409	146	111.6	-	1,360	49	103.6
	6 長期前受金戻入	90	91	1	101.1	-	94	-3	96.8
	7 資本費繰入収益	1,004	1,145	141	114.0	-	1,015	130	112.8
	8 その他	74	86	12	116.2	-	80	6	107.5
	経常収益 (A)	16,624	18,685	2,061	112.4	-	16,968	1,715	110.1
支出	1 職員給与費 (d)	8,318	8,713	395	95.5	-	8,548	165	101.9
	2 材料費 (e)	4,104	4,719	615	87.0	-	4,514	205	104.5
	3 経費 (f)	2,159	2,317	158	93.2	-	2,254	63	102.8
	4 減価償却費 (g)	1,479	1,415	-64	104.5	-	1,404	11	100.8
	5 その他医業費用 (h)	194	122	-72	159.0	-	155	-33	78.7
	6 支払利息	183	183	0	100.0	-	195	-12	93.8
	7 その他	101	114	13	88.6	-	124	-10	91.9
	経常費用 (B)	16,539	17,583	1,044	94.1	-	17,194	389	102.3
経常収支 (A)-(B)		85	1,102	1,017	1,296.5	○	-226	1,326	-
(参考) 実質経常収支 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消		236	1,102	866	466.9	○	-75	1,177	-
特別損益		0	-1,698	-1,698	-	-	0	-1,698	-
純損益 (経常収支+特別損益) (ア)		85	-596	-681	-	(×)	-227	-369	-
(参考) 実質純損益 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消		236	-596	-832	-	(×)	-76	-520	-
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		100.5	106.3	5.8	105.8	○	98.7	7.6	107.7
医業収支比率 $\frac{(a)+(b)+(c)}{(d)+(e)+(f)+(g)+(h)} \times 100$		85.2	80.2	-5.0	94.1	(×)	83.3	-3.1	96.3

職員給与費対経常収益比率 $\frac{(d)}{(A)} \times 100$	50.0	46.6	-3.4	107.3	○	50.4	-3.8	-
材料費対経常収益比率 $\frac{(e)}{(A)} \times 100$	24.7	25.3	0.6	97.6	△	26.6	-1.3	-
経費対経常収益比率 $\frac{(f)}{(A)} \times 100$	13.0	12.4	-0.6	104.8	○	13.3	-0.9	-
減価償却費対経常収益比率 $\frac{(g)}{(A)} \times 100$	8.9	7.6	-1.3	117.1	○	8.3	-0.7	-

【参考】

職員給与費対医業収益比率 $\frac{(d)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	60.1	62.8	2.7	95.7	(△)	60.8	2.0	-
材料費対医業収益比率 $\frac{(e)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	29.6	34.0	4.4	87.1	(×)	32.1	1.9	-
経費対医業収益比率 $\frac{(f)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	15.6	16.7	1.1	93.4	(×)	16.0	0.7	-
減価償却費対医業収益比率 $\frac{(g)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	10.7	10.2	-0.5	104.9	(○)	10.0	0.2	-

現行の改革プランは新型コロナウイルス感染症発生前(H29.3月)に策定されたものであるため、計画値と実績値を単純に比較して評価することが不適切な項目がある。よって、単純比較による評価が不適切なものは()書とした。

各項目及び合計は100万円未満四捨五入のため、項目の合計値と合計欄の数値は一致しない場合がある。

※達成率(概ね100%以上...○、95%以上100%未満...△、95%未満...×)を踏まえつつ、決算値の増減等も考慮して評価。

令和2年度 決算評価表（収益的収支：日高医療センター）

資料3の3

(税込、単位：百万円、%)

年度		R02計画 A	R02決算 B	R02計画と 決算の差 B-A	達成率	評価	R01決算 C	R01決算と R02決算の 差 B-C	伸び率 B÷C
区分									
収入	1 入院収益 (a)	385	452	67	117.4	(○)	532	-80	85.0
	2 外来収益 (b)	1,225	1,160	-65	94.7	(×)	1,159	1	100.1
	3 その他医業収益 (c)	164	114	-50	69.5	(×)	117	-3	97.4
	4 国(県)補助金	1	12	11	1,200.0	-	1	11	1,200.0
	5 負担金交付金	133	184	51	138.3	-	174	10	105.7
	6 長期前受金戻入	0	1	1	-	-	0	1	-
	7 資本費繰入収益	58	75	17	129.3	-	81	-6	92.6
	8 その他	6	7	1	116.7	-	6	1	116.7
	経常収益 (A)	1,972	2,005	33	101.7	-	2,070	-65	96.9
支出	1 職員給与費 (d)	1,269	1,112	-157	114.1	-	1,150	-38	96.7
	2 材料費 (e)	469	561	92	83.6	-	573	-12	97.9
	3 経費 (f)	240	215	-25	111.6	-	228	-13	94.3
	4 減価償却費 (g)	118	127	9	92.9	-	125	2	101.6
	5 その他医業費用 (h)	22	12	-10	183.3	-	16	-4	75.0
	6 支払利息	15	13	-2	115.4	-	14	-1	92.9
	7 その他	4	3	-1	133.3	-	3	0	100.0
	経常費用 (B)	2,136	2,043	-93	104.6	-	2,108	-66	96.9
経常収支 (A)-(B)		-164	-38	126	431.6	○	-38	1	100.0
(参考) 実質経常収支 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消		-111	-38	73	292.1	○	15	-53	-
特別損益		0	-243	-243	-	-	0	-243	-
純損益 (経常収支+特別損益) (ア)		-164	-281	-117	58.4	(×)	-39	-242	-
(参考) 実質純損益 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消		-111	-281	-170	39.5	(×)	14	-295	-
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		92.3	98.1	5.8	106.3	○	98.2	-0.1	99.9
医業収支比率 $\frac{(a)+(b)+(c)}{(d)+(e)+(f)+(g)+(h)} \times 100$		83.8	85.2	1.4	101.7	(○)	86.4	-1.2	98.6

職員給与費対経常収益比率 $\frac{(d)}{(A)} \times 100$	64.4	55.5	-8.9	116.0	○	55.6	-0.1	-
材料費対経常収益比率 $\frac{(e)}{(A)} \times 100$	23.8	28.0	4.2	85.0	×	27.7	0.3	-
経費対経常収益比率 $\frac{(f)}{(A)} \times 100$	12.2	10.7	-1.5	114.0	○	11.0	-0.3	-
減価償却費対経常収益比率 $\frac{(g)}{(A)} \times 100$	6.0	6.3	0.3	95.2	△	6.0	0.3	-

【参考】

職員給与費対医業収益比率 $\frac{(d)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	71.5	64.4	-7.1	111.0	(○)	63.6	0.8	-
材料費対医業収益比率 $\frac{(e)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	26.4	32.5	6.1	81.2	(×)	31.7	0.8	-
経費対医業収益比率 $\frac{(f)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	13.5	12.5	-1.0	108.0	(○)	12.6	-0.1	-
減価償却費対医業収益比率 $\frac{(g)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	6.7	7.4	0.7	90.5	(×)	6.9	0.5	-

現行の改革プランは新型コロナウイルス感染症発生前(H29.3月)に策定されたものであるため、計画値と実績値を単純に比較して評価することが不適切な項目がある。よって、単純比較による評価が不適切なものは()書とした。

各項目及び合計は100万円未満四捨五入のため、項目の合計値と合計欄の数値は一致しない場合がある。

ただし、本資料は経常収支の中に介護収支を含んでおり、その点において資料2と合致しない。

※達成率(概ね100%以上…○、95%以上100%未満…△、95%未満…×)を踏まえつつ、決算値の増減等も考慮して評価。

令和2年度 決算評価表（収益的収支：出石医療センター）

資料3の4

(税込、単位：百万円、%)

年度		R02計画 A	R02決算 B	R02計画と 決算の差 B-A	達成率	評価	R01決算 C	R01決算と R02決算の 差 B-C	伸び率 B÷C
区分									
収入	1 入院収益 (a)	402	292	-110	72.6	(×)	312	-20	93.6
	2 外来収益 (b)	186	138	-48	74.2	(×)	142	-4	97.2
	3 その他医業収益 (c)	37	31	-6	83.8	(×)	35	-4	88.6
	4 国(県)補助金	0	27	27	-	-	0	27	-
	5 負担金交付金	181	193	12	106.6	-	178	15	108.4
	6 長期前受金戻入	2	2	0	100.0	-	2	0	100.0
	7 資本費繰入収益	51	60	9	117.6	-	53	7	113.2
	8 その他	3	5	2	166.7	-	4	1	125.0
	経常収益 (A)	864	747	-117	86.5	-	726	22	102.9
支出	1 職員給与費 (d)	542	548	6	98.9	-	538	10	101.9
	2 材料費 (e)	81	64	-17	126.6	-	63	1	101.6
	3 経費 (f)	95	83	-12	114.5	-	86	-3	96.5
	4 減価償却費 (g)	39	41	2	95.1	-	41	0	100.0
	5 その他医業費用 (h)	8	3	-5	266.7	-	6	-3	50.0
	6 支払利息	13	12	-1	108.3	-	14	-2	85.7
	7 その他	1	0	-1	-	-	1	-1	0.0
	経常費用 (B)	778	753	-25	103.3	-	748	2	100.7
経常収支 (A)-(B)	85	-6	-91	-	×	-22	20	366.7	
(参考) 実質経常収支 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消	107	-6	-113	-	×	0	-6	-	
特別損益	0	-116	-116	-	-	0	-116	-	
純損益 (経常収支+特別損益) (ア)	85	-121	-206	-	(×)	-22	-99	-	
(参考) 実質純損益 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消	107	-121	-228	-	(×)	0	-121	-	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	111.0	99.2	-11.8	89.4	×	97.1	2.1	102.2	
医業収支比率 $\frac{(a)+(b)+(c)}{(d)+(e)+(f)+(g)+(h)} \times 100$	81.8	62.4	-19.4	76.3	(×)	66.6	-4.2	93.7	

職員給与費対経常収益比率 $\frac{(d)}{(A)} \times 100$	62.7	73.4	10.7	85.4	×	74.1	-0.7	-
材料費対経常収益比率 $\frac{(e)}{(A)} \times 100$	9.4	8.6	-0.8	109.3	○	8.7	-0.1	-
経費対経常収益比率 $\frac{(f)}{(A)} \times 100$	11.0	11.1	0.1	99.1	△	11.8	-0.7	-
減価償却費対経常収益比率 $\frac{(g)}{(A)} \times 100$	4.5	5.5	1.0	81.8	×	5.6	-0.1	-

【参考】

職員給与費対医業収益比率 $\frac{(d)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	86.7	118.9	32.2	72.9	(×)	110.0	8.9	-
材料費対医業収益比率 $\frac{(e)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	13.0	13.9	0.9	93.5	(×)	12.9	1.0	-
経費対医業収益比率 $\frac{(f)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	15.2	18.0	2.8	84.4	(×)	17.6	0.4	-
減価償却費対医業収益比率 $\frac{(g)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	6.2	8.9	2.7	69.7	(×)	8.4	0.5	-

現行の改革プランは新型コロナウイルス感染症発生前(H29.3月)に策定されたものであるため、計画値と実績値を単純に比較して評価することが不適切な項目がある。よって、単純比較による評価が不適切なものは()書とした。

各項目及び合計は100万円未満四捨五入のため、項目の合計値と合計欄の数値は一致しない場合がある。

※達成率(概ね100%以上...○、95%以上100%未満...△、95%未満...×)を踏まえつつ、決算値の増減等も考慮して評価。

令和2年度 決算評価表（収益的収支：朝来医療センター）

資料3の5

(税込、単位：百万円、%)

区分		年度						R01決算 C	R01決算と R02決算の 差 B-C	伸び率 B÷C
		R02計画 A	R02決算 B	R02計画と 決算の差 B-A	達成率	評価				
収入	1 入院収益 (a)	1,346	967	-379	71.8	(×)	1,017	-50	95.1	
	2 外来収益 (b)	470	404	-66	86.0	(×)	441	-37	91.6	
	3 その他医業収益 (c)	71	48	-23	67.6	(×)	60	-12	80.0	
	4 国(県)補助金	0	219	219	-	-	0	219	-	
	5 負担金交付金	199	170	-29	85.4	-	149	21	114.1	
	6 長期前受金戻入	2	3	1	150.0	-	2	1	150.0	
	7 資本費繰入収益	192	199	7	103.6	-	193	6	103.1	
	8 その他	8	11	3	137.5	-	8	3	137.5	
	経常収益 (A)	2,287	2,022	-265	88.4	-	1,871	151	108.1	
支出	1 職員給与費 (d)	1,368	1,269	-99	107.8	-	1,233	36	102.9	
	2 材料費 (e)	307	213	-94	144.1	-	219	-6	97.3	
	3 経費 (f)	342	353	11	96.9	-	345	8	102.3	
	4 減価償却費 (g)	338	325	-13	104.0	-	339	-14	95.9	
	5 その他医業費用 (h)	65	30	-35	216.7	-	33	-3	90.9	
	6 支払利息	39	39	0	100.0	-	41	-2	95.1	
	7 その他	3	2	-1	150.0	-	2	0	100.0	
	経常費用 (B)	2,462	2,231	-231	110.4	-	2,212	19	100.9	
	経常収支 (A)-(B)	-175	-210	-35	83.3	×	-341	132	162.4	
(参考) 実質経常収支 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消	-119	-210	-91	56.7	×	-285	75	135.7		
特別損益	0	-299	-299	-	-	0	-299	-		
純損益 (経常収支+特別損益) (ア)	-175	-509	-334	34.4	(×)	-341	-168	-		
(参考) 実質純損益 ※退職給付引当金(過去分)除く ※R02決算解消	-119	-509	-390	23.4	(×)	-285	-224	-		
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	92.9	90.6	-2.3	97.5	△	84.6	6.0	107.1		
医業収支比率 $\frac{(a)+(b)+(c)}{(d)+(e)+(f)+(g)+(h)} \times 100$	78.0	64.8	-13.2	83.1	(×)	70.0	-5.2	92.6		

職員給与費対経常収益比率 $\frac{(d)}{(A)} \times 100$	59.8	62.8	3.0	95.2	△	65.9	-3.1	-
材料費対経常収益比率 $\frac{(e)}{(A)} \times 100$	13.4	10.5	-2.9	127.6	○	11.7	-1.2	-
経費対経常収益比率 $\frac{(f)}{(A)} \times 100$	15.0	17.5	2.5	85.7	×	18.4	-0.9	-
減価償却費対経常収益比率 $\frac{(g)}{(A)} \times 100$	14.8	16.1	1.3	91.9	×	18.1	-2.0	-

【参考】

職員給与費対医業収益比率 $\frac{(d)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	72.5	89.4	16.9	81.1	(×)	81.2	8.2	-
材料費対医業収益比率 $\frac{(e)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	16.3	15.0	-1.3	108.7	(○)	14.4	0.6	-
経費対医業収益比率 $\frac{(f)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	18.1	24.9	6.8	72.7	(×)	22.7	2.2	-
減価償却費対医業収益比率 $\frac{(g)}{(a)+(b)+(c)} \times 100$	17.9	22.9	5.0	78.2	(×)	22.3	0.6	-

現行の改革プランは新型コロナウイルス感染症発生前(H29.3月)に策定されたものであるため、計画値と実績値を単純に比較して評価することが不適切な項目がある。よって、単純比較による評価が不適切なものは()書とした。
各項目及び合計は100万円未満四捨五入のため、項目の合計値と合計欄の数値は一致しない場合がある。
※達成率(概ね100%以上...○、95%以上100%未満...△、95%未満...×)を踏まえつつ、決算値の増減等も考慮して評価。